

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 8月 21日

事業所名 ジャルダン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		利用者が多い場合は二階を使うなど工夫はしている。	活動スペースの利用目的を利用者に定着させ過ぎしやすい環境を整えていく。
	2	職員の配置数は適切である	2	3		指導員が4人揃っているときは十分関わりができています。	利用人数に応じて柔軟に対応できる職員配置になれば尚いいと思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	2	階段には手すりとゲートを設置している。	借家のためバリアフリーは十分ではないが指導員が手を貸す、補助することで対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			日々の朝礼、利用者が帰った後、定期的な会議をし必要な時にすぐ話合える時間をとっている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		保護者の意見はいつでも聞く体制を作っている。	今回初めての評価なので参考にし業務改善をしていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所のWeb等で公開している	4	1			今回初めて公開するようにしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	3		まだ外部評価を行っていないが、今後行っていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			外部研修や事業所内研修は随時おこなっている。	職員内で何が必要かを話し合い、それに合った研修を受けていきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			保護者からの情報や事業所内での様子をみて計画している。	今後はさらに他事業所との連携を図りながら支援計画につなげていきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2	1		医療機関のアセスメントツールを参考にさせてもらっている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			全員の考えや意見を出し合っている。	全員集まる会議等でさらに案を深めるようにしていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		季節に合わせた行事などを入れながら工夫している	工夫しているつもりではあるが固定化になることが多いので利用者が環境に慣れたら新しい活動を取り入れていきたい。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			・季節などを考えて組んでいる。課題というより体験、経験できるように考えている。・長期休暇には平日にあまりできない体験学習を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5			利用者の成長過程を考慮しながら都度作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			午前中か午後一番に全員で情報共有しながら支援内容を確認しあっている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			誰がどうだったか等、指導員の気づきを話し共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			日誌やサービス提供の記録をつけながらその都度話している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		日々気づきたことを話す中で見直しの判断をしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5				複数組み合わせ合わせて行っているが、五領域に沿って個々の支援を充実させていく。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2			サービス担当者会議への出席はしたことないがモニタリングで来られた際は児発管が対応している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			特に変わった様子の時は学校とお互いに情報提供している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2			現在対象者はいないが、今後必要な場合は整えたいと思う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2			開所後間もない為まだしていないが新規の1年生が入所する場合はしていきたい。

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	2		現在対象者がいないがその場合は提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		母親を通して助言してもらったり直接話を聞くようにしている。また研修も受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	4		時間等が合わないのでしていないので今後交流できる機会を設けたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	3		今のところしていないので参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			細かい変化や情報は送迎の際やその日のうちに伝え共通理解に努めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	1		保護者支援は必要と感じた時にしているがペアレント・トレーニングはしていない
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			入所の際に説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			どの指導員にも相談できるようにしている。その後全員で共有し必要な場合は面談を行っている	
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	2	保護者会はないが保護者同士のつながりには協力している。	開所して間もないためまだできていないが、今後開催を検討したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2			今のところ苦情はないが、あった場合の対応の方法は周知している。
	34	定期的にWeb等やジャルダン便りを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			お便りやWeb等で発信し喜んでもらっている	
	35	個人情報に十分注意している	5			保護者への顔出し等のアンケートを取っており、SNSへの投稿の際は十分に気を付けて編集をしている。	
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				対象者がいる場合は個別に配慮していく。	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	2	近所への挨拶や気配りはしている	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		職員は策定したものの読み合わせをしている。保護者に対しては玄関に設置しいつでも見れるようにしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			年2回訓練を行って職員のみならず利用者とも共有している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			年2回行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5				現在対象者がいないが、入所時に保護者への説明を十分行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5			現在対象者がいないが、対象者については医師の指示書に基づく対応をしていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			事例集を作成し、職員が常に見ることができるようにしている。	